

平成28年度予算要求に係る主な事業について

(※教育振興基本計画体系別事業)

1. 確かな学力の育成

●子どもの読書活動推進事業

- ☛子どもの読書活動の推進に向けて、専門的な知識・経験を有する学校司書（現行3名）を増員し、学校における読書指導等を充実させるとともに蔵書整備を行い、学校図書館がさらに機能するよう取り組みを進める。また、読書意欲を高め、個人の読書履歴を残すことを目的とし、「さんだっ子読書通帳」を作成・配布する。

●さんだサイエンスフェスティバル開催事業

- ☛平成28年度から「川本幸民につづけ！三田の科学の祭典 さんだサイエンスフェスティバル」と改称し、三田市出身で化学の祖である川本幸民にちなみ、本フェスティバルを開催する。県内各小中学校への周知や参加団体の拡大を図るほか、関西学院大学との連携により、子どもから大人まで楽しめる科学の祭典として拡充を図る。

2. 豊かな心の育成

●ふるさと学習推進事業（新規）

- ☛三田の自然、歴史、文化、偉人等を学習材として、教材を作成するほか、市の学習施設等の活用を促進し、ふるさと三田を愛する心情や態度を育てる。「ふるさと読本」の発行や伝統文化に関する学習プログラム開発、学校への出前授業、「有馬富士」登山に係る交通費補助等を行う。

3. 多様な教育的ニーズに応じた教育の推進

●スクールソーシャルワーカー派遣事業（新規）

- ☛児童生徒の問題行動や学校運営上の問題等への対応にあたり、学校だけでは解決困難なケースについて、関係機関との連携を促進し多面的なサポートを構築するなど、問題の解決へ向けた手立てをコーディネートする存在としてのスクールソーシャルワーカーを配置する。

4. 信頼される学校づくりの推進

●教育研修所整備事業

- 平成 28 年度 4 月に一部オープンする三田市教育研修所について、平成 28 年度分改修工事及び備品配備を行う。（平成 28 年 9 月全館供用開始）また、教育に関する専門書や本市に関する資料の充実を図り、教職員研修での活用を推進する。

5. 教育環境と教育条件の整備

●IT 教育推進事業

- 学校における情報教育を推進するために、タブレット PC について小学校 9 校に導入（計 20 校）し、教育環境の充実を図るとともに、研修の実施をはじめ、新しい ICT 機器の活用を促進する。併せて、電子黒板（21 台増 計 85 台）、デジタル教科書（小学校算数を 4 校から 20 校へ）を拡充して導入するなど、教育用の ICT 環境をさらに整備、充実する。また、教師用 PC を更新し、校務の情報化を促進し、事務の効率化と個人情報等セキュリティの強化を図る。

5 年間(H28)の目標:電子黒板の設置数 85 台 (707 に 1 台) (平成 27 年度 64 台)

5 年間(H28)の目標:電子黒板を活用して指導できる教員(100%) (平成 26 年度 50%)

●ふるさとの恵み・給食利活用促進事業（新規）

- 学校給食に地場野菜の利用促進（現行の 2 割増）を図り、安全で美味しい食材の提供と生産者への勤労感謝の気持ちを育てる。また、子どもたちが「三田の米はおいしい」と、ふるさと意識を高められるよう、子どもたちの味や食感の好みから、現在の使用品種である「どんとこい」を他の品種と比較する為、学校給食における三田米の品種調査を実施する。

5 年間(H28)の目標:学校給食における地場野菜の使用率 30% (平成 26 年度 25.5%)

6. 学校・家庭・地域の連携と協働

●コミュニティスクール推進事業

- 学校に「学校地域運営協議会」を設置し、学校と地域が子どもの育成に係る教育目標や課題を共有し、効率的な学校支援活動を促進するとともに、地域が主体的に学校運営に参画できるようにする。平成 28 年度は、実施校を（5 校から 7 校へ）拡充して推進する。 5 年間(H28)の目標:H24 モデル校実施し、順次拡大)